

製品名: RANTES ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16888**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	CCL5 CCL5; D17S136E; SCYA5; C-C motif chemokine 5; EoCP; Eosinophil chemotactic cytokine; SIS-delta; Small-inducible cytokine A5; T cell-specific protein P228; TCP228; T-cell-specific protein RANTES
別名	
遺伝子 ID	6352.0
SwissProt ID	P13501
免疫原	抗血清はヒト RANTES 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 35-84

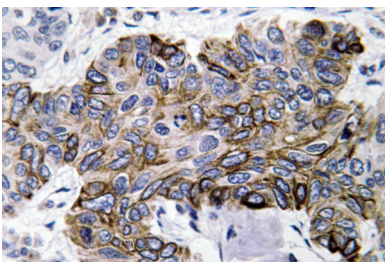
背景

この遺伝子は、17番染色体のQ腕にクラスター化している複数のケモカイン遺伝子の1つです。ケモカインは、免疫調節および炎症プロセスに関与する分泌タンパク質のスーパーファミリーを形成します。このスーパーファミリーは、成熟ペプチドのN末端システイン残基の配置に基づいて4つのサブファミリーに分けられます。CCサブファミリーのメンバーであるこのケモカインは、血液単球、メモリーTヘルパー細胞、および好酸球の走化性因子として機能します。好塩基球からヒスタミンを放出させ、好酸球を活性化します。このサイトカインは、CD8+細胞によって産生される主要なHIV抑制因子の1つです。これは、ケモカイン受容体ケモカイン(C-Cモチーフ)受容体5(CCR5)の天然リガンドの1つとして機能し、CCR5を共受容体として使用するHIV-1のR5株のin vitro複製を抑制します。選択的スプライシングにより、以下の機能をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます：血液単球、メモリーヘルパーT細胞、および好酸球の走化性因子。好塩基球からのヒスタミン放出を引き起こし、好酸球を活性化します。CCR1、CCR3、CCR4、およびCCR5に結合します。CD8陽性T細胞によって産生される主要なHIV抑制因子の一つです。組換えRANTESタンパク質は、HIV-1、HIV-2、およびサル免疫不全ウイルス(SIV)の様々な株に対して用量依存的な阻害作用を示します。処理されたRANTES(3-68)は天然の走化性阻害剤として作用し、HIV-1感染に対するより強力な阻害剤です。2番目の加工型RANTES(4-68)は、RANTES(1-68)およびRANTES(3-68)と比較して走化性およびHIV抑制活性が低下しており、単球および好中球に関連する未確認酵素によって生成されます。誘導:マイトジェンによって。質量分析:PubMed:1380064,質量分析:PubMed:15923218,質量分析:O-グリコシル化PubMed:1380064,オンライン情報:RANTES エントリ,多型:変異体 Phe-24は、ケモカイン受容体CCR1およびCCR3の拮抗薬です。PTM:N末端加工型RANTES(3-68)は、末梢白血球から分泌され培養された後、おそらくDPP4によってタンパク質分解切断によって生成されます。肉腫細胞。PTM:Ser-27およびSer-28のO結合型糖鎖の正体はPubMed:1380064には記載されていない。これらは類似性に基づいて割り当てられている。類似性:インタークリンβ(ケモカインCC)ファミリーに属する。組織特異性:T細胞およびマクロファージ特異的。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、ケモカイン、Toll-Like、NOD-like受容体、細胞質DNA感知経路、プリオン病、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達。

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織におけるRANTES抗体の免疫組織化学分析。